

2025 年 9 月 1 日

東急不動産ホールディングス株式会社

東急不動産ホールディングス 2025 年統合報告書 「WE ARE GREEN REPORT」を公開しました

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川弘典、以下「当社」）は 2025 年版統合報告書「WE ARE GREEN REPORT」を本社ホームページにて公開いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは、2021 年度に策定した長期ビジョンの実現に向けたスローガン「WE ARE GREEN」を冠し、「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」をめざし、2022 年度より統合報告書を「WE ARE GREEN REPORT」として開示しております。



「WE ARE GREEN」は、多様なグリーンの中で、2030 年にありたい姿「価値を創造しつづける企業グループへ」を実現していく私たちの姿勢を表しています。事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的な成長と企業価値向上をめざす姿を、財務・非財務の情報を合わせて、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、わかりやすくお伝えすることを目的として制作しました。

統合報告書「WE ARE GREEN REPORT」は [こちら](#) からご覧ください。

当社グループは、2025 年 5 月に、2030 年度を目標年度とする「中期経営計画 2030」（以下、新中計）を策定しました。

新中計は、長期経営方針後半期の強靱化フェーズと位置づけ、強固で独自性のある事業ポートフォリオを構築することで、効率性や耐久性の向上を進めながら、更なる利益成長をめざしています。また、特に当社グループの強みを活かすことができる 3 つの社会的テーマ「国際的な都市間競争力強化」「GX の実現」「観光立国／地方創生」を設定し、それぞれに基づく重点テーマをグループ横断で推進していきます。

さらに、長期経営方針に掲げた全社方針「環境経営」「DX」を強化し、当社グループの競争優位性を高め続け、プレミアムな価値の創出につなげる価値創造を行っていきます。

本年度の統合報告書では、新中計における戦略を中心に、企業のサステナブルな成長への価値創造ストーリーや当社グループの強み、事業戦略、財務資本戦略、人的資本経営や企業活動の基盤となるコーポレートガバナンスなどを、役員メッセージを交えて丁寧にご紹介しております。

これからもステークホルダーの皆さまに選ばれる企業グループをめざし、建設的な対話による企業価値創造に努めていきます。

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」と「中期経営計画 2030」について

東急不動産ホールディングスは2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーン^{※2}の力で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めております。2022年末には事業所及び保有施設^{※2}の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了し、2024年にはRE100事務局より「RE100」の目標達成を、国内事業会社として初めて認定されました。

2025年5月には東急不動産ホールディングスは2030年度を目標年度とする「中期経営計画 2030」を策定し、「広域渋谷圏戦略の推進」「GX ビジネスモデルの確立」「グローバルビジネスの拡大」の3つの重点テーマに取り組み、強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築をめざします。

^{※2} 一部の共同事業案件などを除く

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>